

建築物排出量削減計画変更届

(宛先) 京都市長	平成31年1月25日
京都市中京区西ノ京桑原町1番地	株式会社島津製作所 代表取締役社長 上田 輝久 電話 075-823-1111

京都市地球温暖化対策条例 <input checked="" type="checkbox"/> 第36条第3項 <input type="checkbox"/> 第39条第2項において準用する同条例第36条第3項の 規定により届け出ます。		
変更の内容	変更する事項	① 建築物環境総合性能評価システムの評価結果 ② 延べ床面積、建築面積 ③ 太陽光パネル ④ リサイクル材(躯体材料以外) ⑤ 地域産木材の使用箇所 ⑥ 緑化面積
	変更前	① BEE値=3.3(ランクS) ② 延べ床面積= 18,969.11㎡、建築面積= 5026.65㎡ ③ 計画建物に太陽光パネルを設置する ④ 床タイル、ビニル床タイル、天井材にリサイクル材を使用している ⑤ 木製ルーバーに地域産木材を利用している ⑥ 外構、光庭、屋上に緑地を設けている
	変更後	① BEE値=3.1(ランクS) ② 延べ床面積=19,861.69㎡、建築面積=5064.88㎡ ③ 計画建物に太陽光パネルを設置するプランを取りやめ、既存の太陽光パネルを利用する ④ 床タイルの計画が無くなったため、断熱材をリサイクル材として評価 ⑤ 木製ルーバーを取りやめ、1階オープンラボ1床下の下地材に地域産木材を使用している ⑥ 外構、光庭、屋上に緑地を設ける計画である事は変わらないが、緑地面積が減少している
変更の理由	① BEE値=3.1(ランクS) ② 延べ床面積=19,861.69㎡、建築面積=5064.88㎡ ③ 計画建物に太陽光パネルを設置するプランを取りやめ、既存の太陽光パネルを利用する ④ 床タイルの計画が無くなったため、断熱材をリサイクル材として評価 ⑤ 木製ルーバーを取りやめ、1階オープンラボ1床下の下地材に地域産木材を使用している ⑥ 外構、光庭、屋上に緑地を設ける計画である事は変わらないが、緑地面積が減少している	

注 該当する□には、レ印を記入してください。

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	平成31年1月25日
京都市中京区西ノ京桑原町1番地	株式会社島津製作所 代表取締役社長 上田 輝久 電話 075-823-1111

京都市地球温暖化対策条例 <input type="checkbox"/> 第36条第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第36条第3項 <input type="checkbox"/> 第39条第1項 <input type="checkbox"/> 第39条第2項において準用する同条例第36条第3項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	30 年 1 月 9 日			
工事完了予定年月日	31 年 1 月 31 日			
建築物 の概要	名 称	株式会社島津製作所 新開発棟 (仮称:ヘルスケアR&Dセンター) 建設工事		
	所 在 地	京都市 中京区 西ノ京 桑原町1, 1-1, 1-2, 2, 9-1, 10		
	構 造	鉄 骨 造	階 数	地 上 7 階 地 下 1 階
	敷地面積	98683.17㎡	高 さ	34.65m
	建築面積	5064.88㎡	床面積の合計 (増築部分の床面積)	25718.68㎡ (19425.13㎡)
	用途別の床 面積	住 宅		
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等	25718.68㎡	
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果	BEE値=3.1(ランクS)			

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
■ 外壁，屋根又は床の断熱	外壁：吹付け硬質ウレタンフォームA種1 t=15 屋根：吹付け硬質ウレタンフォームA種1 t=25 を採用している
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽	日射遮蔽型のLow-E複層ガラスを採用している 外周サッシ周りに庇を設けている
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	天井輻射空調を設けている
■ 再生可能エネルギーの利用	既存の太陽光パネルを利用している
■ 環境への負荷が少ない材料の利用	躯体材料以外の材料である ビニル床タイル、天井材、断熱材にリサイクル材を使用している
■ 地域産木材の利用	1階オープンラボ1床下の下地材に地域産木材を使用している
■ 節水型設備の設置	自動水栓、節水機器を設けている
□ 雨水，雑排水等の利用	
■ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	空調換気ダクトに耐用年数の長い材料を採用している
□ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	
■ 緑化の実施	外部テラスや、屋上に緑地スペースを設けている
□ その他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください